

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山円山校		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 15日		～ 令和6年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16世帯	(回答者数) 13世帯
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 15日		～ 令和6年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ブースの広さを活用した支援が行えること	・簡単な運動も広い場所で行うことができている。 ・利用時の状況に合わせてブースを工夫している。	・引き続き、指導員と利用時が1対1にならないように、職員の配置を検討し行っている。
2	・利用者、利用児に寄り添ったフィードバックの提供	・保護者様の困り感やニーズに沿った相談援助を行っている。	・支援見学の機会が少ない利用者の方に周知をしていき、支援見学の機会をふやす。
3	・子どもが安心して来所している。	・支援プログラムの作成を利用児に合わせて支援を行っている。	・自己研鑽を積み、より良い支援の作成・実施を行っていく。 ・子どもが楽しめる課題設定を今後も行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放デイに関する経験が少ない職員がいること	・経験が少ない職員が多い為	個々に合わせた、分かりやすい支援プログラムの作成・理解しやすい課題説明ができるように、自己研鑽の機会を増やしていく。
2	・校舎内の死角が多い	・校舎が広い為に、壁などが多く死角が多い危険箇所も多い。	・指導員と利用時が1対1にならないように、職員の配置を検討し行っている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 岡山円山校

公表日 2025年2月15日

利用児童数

16世帯

回収数 13世帯

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3		3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3		6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名					公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・利用児が集中できるようにパーテーション等で区切るようにしている。 ・運動は広いスペースで安全を確保して行っています。	・指導訓練室以外の職員での職員の目が届くように構造化を行っています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・フィードバックでも来客やお子様に対応できる職員を一人配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・階段は必ず職員や保護者様と一緒に行動するように伝えていきます。	・階段・2階玄関扉が重い・場所ごとに区切られている為注意喚起の視覚支援物を増やしていく。 ・階段の昇降の安全と玄関の戸の開け閉めの際には十分注意していただきますよう声を掛けて頂いています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎朝の掃除と毎時間の消毒・換気を感染対策として行っています。	・活動によって療育室の使い方を変更し、安全に活動できるよう配慮しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・活動や利用時の状況に応じて別の部屋を利用している。	・より明確なクールダウンスペースがあると良い(今は指導員がそれぞれ対応しているため)
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・毎日のミーティングや個別支援計画作成に関しては職員で会議を行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・集計後に職員でミーティングを行い、業務改善が必要な点について共有認識をもつようにしています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎朝のミーティングで確認で確認を行い、共通認識できるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・教室内と市内の「きらり」にて行っています	・今後は、発達支援研究所などを活用し、より良い療育を展開していけるようにしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・感染症、虐待、身体拘束、虐待防止委員会、発達支援研究所、ブロック内の研究委員会より、月1回以上の研修を受講しています	・引き続き、研修を受講しながら研鑽を積んでいきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・保護者には公表しており、全体には今後ホームページ等で公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・会社で使用しているアセスメントシートの利用や保護者様からの話を踏まえながら行っています。	・今後もアセスメントツール等を活用しながら保護者様のご意見や関係機関との連携を適時行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・本人意思決定に基づいて行っています。 ・利用できるサービス等を考慮して作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・個別支援計画の内容に基づいた支援を行っています。	・個別支援計画の見直しについて、柔軟に作成、変更ができるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・アセスメントシートを使用し、保護者様への聞き取りを行い、個別支援計画の作成時に反映させています。	・今後も継続して行っています
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・放課後等デイサービスガイドラインに沿って、ご利用者様の状況を把握し、支援内容を設定しています。	・事業所内での療育だけではなく、利用者様を取り巻く家族や地域にも目を向けた個別支援計画の作成に努めています。 ・支援に関する研修や園訪問などで情報共有を行わせて頂き反映させて頂いています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・職員同士で相談し合ったり、日々振り返りの時間を設け、情報共有をしています。	・今後も担当指導員のみでプログラムを作成するのではなく、事例検討会など取り組み、職員全員で考えていきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・ご利用者様の特性や興味・関心に合わせて効果的に楽しく取り組めるよう、支援内容の工夫を行っています	・今後もご利用者様が楽しく学べるよう臨機応変、柔軟にプログラムを立案していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	・イベント的に長期休みの際に行っています。	・今後は、長期休み以外でも開催できるよう検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・支援の前後に職員間で必要な情報を共有しています。 ・担当変更をして支援を行う際には、その都度情報共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・毎日のミーティング時に、前日の支援を振り返りを行い、職員間で情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録は客観的に記入し、見直すことでご利用者様の成長や環境の変化に合わせて、支援内容や方法を検討していきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・最長でも6か月以内にモニタリングを実施し、個別支援計画の更新を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせ支援を提供しています。	・今後は地域交流の機会の提供が行えるよう検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自分で選択したものを、決定したことを取り組めるための支援を計画しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児発管と担当指導員が中心に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・医療ケアの必要なご利用者様は在籍しておりません。	・様々な機関との情報共有ができるように整えていっています。 ・医療ケア児の知識の勉強と利用希望の方がおられましたら積極的に受け入れていきたいと思っております
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・関係機関連携や保護者様を通して学校との情報共有を行っています。	・学校のホームページの活用や必要に応じて関係機関連携を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・必要に応じて情報共有を行わせて頂いています。	・今後も必要に応じて行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・現在は該当者様はおりません。	・今後、必要に応じて行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・研修に参加させて頂いたり、助言を頂いています。	・連携は定期的に行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・現在は行えていません。	・職員のみが参加しているため、今後は利用様も参加できるように計画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・参加している	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎回フィードバック時に行うようにしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・フィードバック時に家庭でも出来ることなどをお伝えしているが、ペアレント・トレーニングとしては行えていません。	・ペアレント・トレーニング実施に向けて、職員の知識や技術の向上を図っていきます。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明をさせていただいており、教室内でも掲示しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・事業所内相談を設けるなどして行っています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画の作成・更新時には、内容説明を行い、同意を頂けた場合に署名を頂いています。	・今後も、ご利用者様の発達段階を重視した個別支援計画の作成に努めさせていただきます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・フィードバック時や事業所内相談として希望があればすぐに対応させて頂いています。	・定期的に事業所内相談を設けさせて頂き、話ができるようにしていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	・小集団での談話の会の開催を行わせて頂いています。	・保護者様やご兄弟様が参加できる会も検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・事業所内に受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整え、専用窓口を設置しています。頂きました苦情につきましては、社内でフォロー定め、迅速かつ適切に対応しています。	・保護者様への周知は、個人情報等に配慮し、配布物や口頭でお知らせさせて頂きます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・ホームページやブログ更新、インスタ等で配信を行っています。 ・自校舎SNSを作成し、イベントや日頃の様子を発信しています。	・「きらり」通信として、皆様にわかりやすい形での配信も検討してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付き書庫やパスワードの設定など、書類やデータの管理は適切な対応を行っています。	・PC内のデータ、個人ファイルなど、共有スペースでの配慮を怠らないようにしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・一人ひとりに合わせてコミュニケーションツールを作成し使用しています。	・ICTや視覚教材の活用も取り組んでいけるようにします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・無料相談会・ふれあいスペースを毎月開催し、参加して頂いています。	・来年度も時間帯や内容を検討しながら継続してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルを作成し、玄関のファイルの中に設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・月1回の実施とご利用者様に参加していただく防災訓練を年2回行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・面談時に聞き取りを行っています。	・必要に応じて保護者様に確認を行わせて頂いております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・現在、該当する利用者様はいません。	・飲食物の提供や手に触れる物に対しては、その都度確認させて頂いております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全管理に留意し行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・事業所内で作成、保管をしています。	・今後は掲示していくようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・報告書を作成し、職員間で回覧し共有しています。また会社内でも共有しています	他事業所の事例も共有し、事故の未然防止に努めています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・マニュアルを作成し、年1回の全体研修と毎月研修を行っています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時に必要のある方については説明をさせて頂いております。	・不安のある場合は、保護者様の同席をお願いしています。	